



## トヨタ自動車は中国で販売するハイブリッド車向けに発電モーター封止用 BMC を供給

昭和電工株式会社（社長：森川 宏平）は、トヨタ自動車株式会社（以下、「トヨタ社」）が中国国内で販売を開始した「トヨタカローラ ハイブリッド」「トヨタレビン ハイブリッド」の発電モーターの封止材用として、当社グループの上海昭和高分子有限公司（以下、SSHP）で生産する熱硬化性成形材料（Bulk Molding Compound 以下、「BMC」）の出荷を開始しました。

当社の BMC は、高熱伝導性、高絶縁性、耐熱性、高流動性、寸法安定性、耐薬品性という特長を有し、トヨタ社の「プリウス」等のハイブリッド車（以下、HV）発電モーター封止材用に使用されています。この度、トヨタ社の中国市場向け HV 2 車種のモデルチェンジに当たり、電動車パワートレインを現地開発及び現地生産とする方針に応じて、SSHP で BMC を生産し、トヨタ自動車（常熟）部品有限会社に供給を開始しました。SSHP での HV 用 BMC の生産は、2010 年の操業開始以来初めてですが、中国の環境規制強化による市場拡大が期待されます。

大気汚染防止、温室効果ガスの排出抑制のため、自動車の低燃費化や排出ガス削減のニーズが世界的に高まり、エコカーに対する消費者の関心も高まっています。中国では、2019 年から自動車メーカーに一定数の「新エネルギー車（以下、NEV）」の生産を義務付ける NEV 規制を施行して、環境保護の取り組みを強化していますが、HV を低燃費車とみなして普及を図り、環境対策を加速する動きがあり、HV 市場の拡大が見込まれています。

当社グループは、個性派企業（収益性と安定性を高レベルで維持できる個性派事業の連合体）の実現を Vision（目指す姿）としています。中期経営計画 The TOP 2021 において、BMC を含む機能性化学品事業は、「変わる」に位置付けています。社会や市場の変化を予測し、社会的価値の高い製品やサービスを提供することを通じて事業を拡大し、個性派事業への成長を目指します。

以上

◆ 本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235